

⑦ 「SDGs（＝持続可能な開発目標）」と省エネ

エスディーゼイズ

SDGsとは、2015年に国連が採択した、全世界の「だれ一人取り残さないため」、人々が協力して2030年までに解決したい17の目標です。省エネは、SDGs達成に大きく貢献します。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



〔参考〕SDGsについての「学び・交流・実践」をサポートするポータルサイト「信州 SDGs ひろば」<https://shinshu-sdgshiroba.com/>

◆ SDGs を温暖化防止の観点から考えると

2015年に採択された「パリ協定(＝気候変動抑制に関する多国間の国際的な協定)」は、SDG13(気候変動に具体的な対策を)達成に重要な役割を果たすことになります。

下図のように、他の目標と関連性があります。



本ガイドブックに掲載されている「省エネ」は、人と社会、地球環境、地域のことを考慮して作られたモノを購入・消費する「エシカル（倫理的）消費」の一つです。エシカル消費は、おもいやり消費とも言われ、SDG12(つくる責任 つかう責任)達成につながるとされています。そして「創エネ」(再生可能エネルギー)を進めるうえでも環境に配慮することが必要です。



このように、SDGsの目標は相互に関連し合っています。

また、国境をまたいで広がっていく感染症と気候変動(地球温暖化等)には関連性があり、グローバルな課題であると言えます。これらの課題を自分ごととしてとらえ、SDGsを道しるべとし、持続可能な社会をめざす。そのために私たちにできることは何でしょうか。健康で安全な生活のためにも、私たち一人一人の行動が、これら課題の解決の一步となるよう取り組み、気候危機を乗り越えるべく、ここ信州から発信していけたら素晴らしいですね！

【文責】太谷 優子